

当院の研修には2種類あります。1つ目は、業務に必要な基礎的な能力を身につけることを目的としたものです。代表的なものとして、新入職研修が該当し、基本的には業務時間内に行います。2つ目は、自己研鑽を目的としたものです。これはリハビリテーション科の管理職から認められた専門性を有するスタッフが時間外に開催しています。本来であれば、研修会の会場まで行き、参加費を払い受講するものを移動せず無料で参加できることから、スタッフから喜ばれています。

今回、佐野主任が2024年7月16日に自己研鑽を目的とした研修会を行いました。佐野主任は病院で働く傍ら関西医療大学大学院で修士号を取得され、養成校で専任教員として学生指導に関わっておられました。その後、スポーツ現場で活躍され、2年前から当院リハビリテーション科の主任として勤務されています。

研修会のテーマは「論文抄読会 kick off」でした。内容はEvidence Based Medicineの流れに沿った論文の読み方、論文の内容を他のスタッフにどのように共有するかというもので、関西医療大学大学院で学ばれた経験をもとに、わかりやすく丁寧にご指導いただきました。

参加者からは「論文の読み方が変わりました」や、「エビデンスの高い論文の探し方が変わったので、読んで共有したい」、「英語論文を読んでみる！」との感想がありました。

当院としては、福利厚生の一環として、自己研鑽を目的とした研修を積極的に開催し、スタッフのキャリアアップに努めてまいります。

(文責 藤原 聡)

【研修会風景】

